

平成22年度決算報告

平成22年度決算が9月村議会定例会で認定されました。一般会計では、歳入総額が24億677万4765円、歳出総額が22億1161万3091円で、差し引き1億9516万1674円の黒字決算となり、23年度へ繰り越しました。これは、平成21年度と比較すると、歳入で2億5690万180円（11・94%）、歳出で2億1385万4888円（10・7%）の増額となっています。

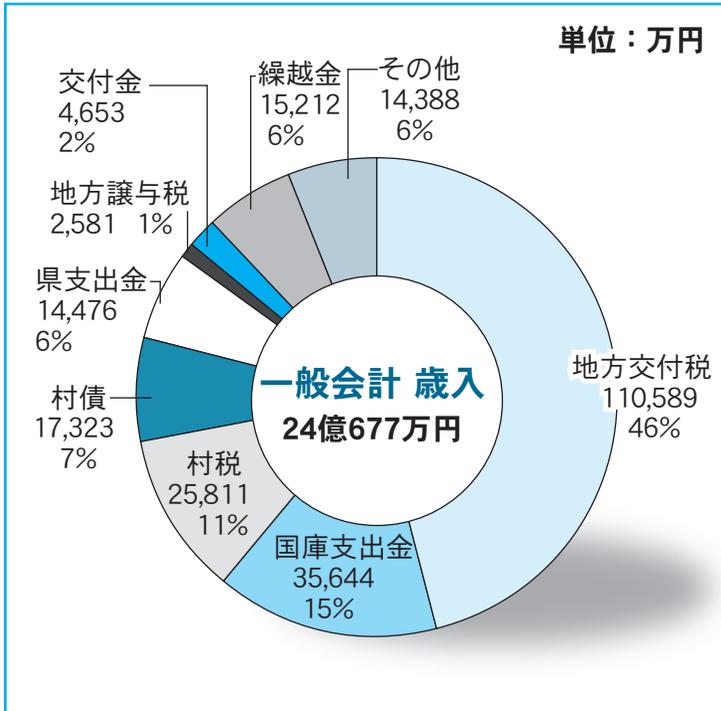
平成22年度一般会計決算の状況

歳入総額 24億 677万円

歳出総額 22億1,161万円

差し引き 1億9,516万円

の黒字決算となりました。



歳入

平成22年度は、実質的に基金を取り崩すことなく、歳入に見

合った行政運営が行われました。村税や自動車取得税交付金等が減額しましたが、地方交付税や国庫支出金、県支出金が昨年度

と比較して増額したため、総額としては2億5690万円の増額となりました。主な費目の概要は次のとおりです。

地方交付税は、財源不足を補うため国から交付され、村の歳入の骨格となっており、21年度に比べ5913万円の増額となりました。

村税は、村民の皆さんから納めていただいた固定資産税や住民税で、村の自主財源のほとんどを占めているものです。21年度に比べ1495万円の減額です。

村債は、村が事業を行ううえで、財源不足を補うための借入金ですが、中学校校舎・屋内運動場耐震補強工事のための借入金と将来交付税措置される有利な特例地方債（臨時財政対策債）を借入れています。21年度に比べ4423万円の増額です。

繰入金は、主に財源不足を補うために

特別会計の決算状況

会計区分	収入済額	支出済額	歳入歳出差引額
国民健康保険	4億9,238万円	4億1,894万円	7,344万円
老人保健	103万8千円	3千円	103万5千円
介護保険	4億 517万円	3億9,139万円	1,378万円
浄化槽設置管理	4,853万円	4,797万円	56万円
後期高齢者	3,413万円	3,402万円	11万円
村営バス	2,693万円	2,693万円	0円
簡易水道	8,310万円	7,704万円	606万円

基金を取り崩して繰り入れたものですが、歳出の削減に取り組んだことにより、21年度に比べ389万円の減額となりました。繰越金は、21年度に比較して568万円の減額です。